



あじさい寺 阿弥陀寺
治承四年(1180年)に消失した奈良東大寺復興の大勲進職を務めた俊乗房重源上人により、阿弥陀寺は東大寺の周防別所として、文治三年(1187年)に建立されました。境内のあじさいは昭和50年頃より植え始め、昭和63年、地元有志の協力を得て本格的な植樹活動を開始し、現在では「西

のあじさい寺」と言われ、いろんな種類のあじさい80種類、4千株のあじさいが植えられているそうです。(あじさい保存会より)

これは、本堂の近くにある大木の中、かわいらしい仏様があじさいに囲まれて笑っていらっしゃいました。

(H27.6.13 家族と一緒に 田熊)

社長の仕事 税理士 大場史郎

トマ・ピケティ氏の格差社会について

働く人より働かない人の方が豊かになる。

アベノミクスの効果は確かに出ているが、資産を持つ人と持たない人の格差は更に広がっているようだ。私の5カ年計画の今年の予定の一つ、「東京で飲食店(花子)の2号店を出すこと」を実現するために東京へよく行く。

30坪程度の店を探す、駅から3分でメイン通り沿い、1階なら坪3~4万円、90~120万円ぐらいの家賃である。敷金10~12か月、東京の場合敷金も20%ぐらいの償却がある。すなわち退去時80%しか戻らないのである。更に礼金2か月、企画料1か月取られるケースもある。要するに家賃が100万円なら、店舗を借るだけで、1500万円ぐらい必要になる。更に2、3年ごとに更新料1か月分の家賃が必要だ。私が目指すお好み焼、鉄板焼きではラーメンやうどんのように昼に3~4回転は不可能である。要するに坪3万円では採算が合わない。そこで、一步裏道か、1階ではなく2階、または1、2階で30坪を探すようになる。

そこで情報が入ったので、神保町の1、2階で30坪の中華料理店、また神楽坂のコンビニ店を見に行くが、すでに他の人が先に借りていた。

広島だと事業用店舗はすぐには詰まらないが、東京だといいい物件はすぐに詰まってしまう。

山手線沿いの駅そばに3、40坪の敷地の賃収ビルを持っていたら、月に300万円ぐらいの家賃を容易に稼ぐことができる。ここで冒頭の言葉である。

その土地で自分で商売するより、賃貸で貸した方が安全で確実だ。額に汗して働く人と、親から東京の土地を相続した人やアベノミクスで上がった株で儲けた人とは収入の差が年々開いている。

若い人が希望を持って働き、子育てができる社会、税制が求められる。